

～ゼロカーボンシティを目指して～

昨今の温室効果ガスの増加に伴う、地球温暖化の進行、そのことが起因とされる気候変動による、自然災害や異常気象等、我々の生活環境にも深刻な影響が出ております。

こうした状況を踏まえ、昨年、国は「2050年までに温室効果ガスの排出を実質ゼロにする脱炭素社会の実現を目指す」ことを国際公約として世界に宣言し、2015年のパリ協定実現に向けた、長期的な目標を掲げました。

本市は、環境都市として、地球環境負荷の低減のため、風力を中心とした再生可能エネルギーの導入拡大を推進する取り組みを、まちづくりの柱の一つとして進めてまいりました。

今後は、国際社会の一員として、本年4月から始まる新たな「稚内市地球温暖化対策実行計画」に基づき、省エネルギー行動の徹底、省エネルギー設備の導入促進、地球環境負荷の少ないエネルギーへの転換等、脱炭素化へ向けた取り組みの強化によって二酸化炭素排出量の削減を図り、まずは、2030年に26%以上の削減を達成し、さらに、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロとする「ゼロカーボンシティ」を目指してまいります。

令和3年2月26日

稚内市長　工藤 たかし